

戦前期仏教社会事業の教育理念と実際 ——社会福祉専門職教育における従事者像の歴史的変遷の先行研究——

坂本道子*

聖隷クリストファー大学

【目的】

筆者は今まで日本キリスト教社会事業史の中で、プロテスタントのディアコニッセ、カトリックの修道女に関して、それらの活動を、慈善慈恵事業、社会事業、社会福祉での活動に焦点を絞って分析し、その内容や基本姿勢および思想を明らかにしようとしてきた。

本研究は、日本においてキリスト教より早い時代から、その地域ごとに、地域に密着した人々の救済を行ってきた仏教の活動に焦点を当て、活動内容と基本姿勢や思想を明らかにしていくことを目標とした。具体的方法としては基本資料を購入・収集し分析する。これらによって、教育現場や実践現場で行われていた教育内容を抽出し、従事者に求められていた具体的な内容と、理想像を分類・分析し、今後専門職教育が目指すべき内容と思いを明らかにし、先行研究として、今後の研究の方向性を見出すことを目的とした。

【方法と結果】

1, 資料収集；次の基本文献を収集、複写、資料収集。

①『救済：大谷派慈善協会機関誌、復刻版』不二出版（本学図書館蔵）一部複写

②『戦前期社会事業資料集成』日本図書センター（愛知県図書館蔵）→本学に蔵書があることが実施段階で判明し、愛知県図書館に行かずに資料閲覧が可能だった。これにより出張費等が大幅に節約できた。

③中西直樹ら『戦前期仏教社会事業の研究』2013 不二出版の購入

④日本仏教社会福祉学会機関誌『日本仏教社会福祉学会年報』及び『復刻版』の購入

⑤『戦前期仏教社会事業資料集成』不二出版 2012 の購入

⑥田宮仁ら『仏教と福祉』1994 溪水社の購入

⑦吉田久一・長谷川匡俊『日本仏教福祉思想史』2001 法蔵館の購入

⑧日本仏教社会福祉学会『仏教社会福祉辞典』2006 法蔵館の購入

⑨原典仏教福祉編集委員会編『原典仏教福祉改訂』1997 北辰堂の購入

実施に当たり、書籍購入費、資料複写・整理のアルバイト代を執行した。

2, 出張；愛知県図書館の他の蔵書の閲覧を行うために日帰りの出張を1回行った。この途中で日進市にある日本基督教団愛知老人コミュニティセンターシルバーホーム「まきば」に入所する引退牧師から、地域における牧師の役割及び福祉と宗教の位置づけについてお話を伺った。また、中京大学大友昌子教授から、アジアおよび日本における宗教社会事業の位置づけ及び研究動向についてお話を伺った。前述のように、資料が本学にあったため、出張はこの1回のみであった。予算残高があるのはこの部分の経費節減のためである。

3, 分析視点；収集した文献・資料を次の手順で分類・整理・分析している。

①資料及び文献リストの作成、および年表の作成

②「大学で提供していた社会事業教育と社会福祉従事者像」の文献資料データ収集分析

③「現場で養成・要求された社会福祉従事者像」の文献資料データ収集分析

④これらのデータの分類・整理・分析

4, 今後の課題；現在、データの分析中である。5月末の発表に向けて、ある程度の方向性を見出すことが今後の課題である。